

2009年8月28日
明治大学

学生の皆さんへ

新型インフルエンザについて（8月28日更新）
～課外活動等におけるインフルエンザの流行～

夏季休業期間に入り、課外活動に参加している学生を中心に、インフルエンザ感染が多数報告されています（8月28日現在累計感染者数93名）。夏季休業期間中の合宿や旅行に際しては、以下の点に十分注意して活動してください。

夏季休業中の注意

1. 体温計やマスクは必需品です。毎日検温するようにしましょう。マスクは最低1週間分は用意しましょう。
2. いつでも医療機関を受診できるように、健康保険証または遠隔地被保険者証を準備しておきましょう。
3. 自宅や居住地周辺の医療機関やその診療時間、電話番号などをあらかじめ書き留めておきましょう。
4. 一人暮らしの学生については、万一、インフルエンザに罹患して外出自粛となってもよいように、最低1週間分の食料（カップめんや缶詰、飲料水等）を用意しておきましょう。
5. 手洗い・うがいなどを励行してください。
6. 咳やくしゃみをする時には、ハンカチやティッシュで口を覆い、他の人がいない方向に向かってしましょう（咳エチケット）。その後速やかに、手を洗うように心がけてください。
7. 不必要に人混みに出ることは避けましょう。
8. 発熱がある場合は、医療機関で受診し、適切な治療を受けてください。課外活動は休み、大学に登校せず、自宅で療養してください。
9. もし、A型インフルエンザに診断された場合は、
 - ① 医師の指示に従うこと。また、少なくとも解熱後2日（可能なら4日の方が望ましい）が過ぎるまで自宅で療養してください。

- ② 課外活動にも参加しないでください。
- ③ A型インフルエンザに罹患したことを大学に連絡してください。
- ④ インフルエンザと診断された方で一人暮らしの場合は、定期的に携帯電話等で家族か友人に連絡をとるようにしてください。

旅行計画者の留意点

1. 旅行前は健康管理に留意し、体調不良や発熱があれば計画を中止してください。
2. 体温計、マスクを必ず持参し、旅行中も毎日検温してください。
3. 健康保険証または遠隔地被保険者証を持参してください。
4. 発熱や体調不良がみられた場合は、ただちに近くの医療機関で受診してください。
5. グループで旅行を計画している場合、インフルエンザの発症者がみられた時の連絡責任者を決めておいてください。
6. もし、A型インフルエンザと診断された場合は医療機関の指示に従いつつ、次の注意を守ってください。
 - ・原則として自宅に帰宅してください（この時には持参したマスクを着用）。
 - ・帰宅が無理な場合は、医療機関の指示により宿舎などで快復するまで療養してください。
- ① グループ旅行の場合は、他のメンバーとは別の部屋にしてください。
- ② マスクを着用し、咳エチケットを守り、手洗いを励行し、他の人にうつさないように配慮してください。
7. A型インフルエンザに罹患した場合、必ず大学に連絡してください。
8. グループ旅行で複数名が感染した場合は、現地の医療機関および保健所の指示に従うとともに、連絡責任者が発症者の状況をまとめて大学に連絡してください。

以 上